

# 保育園自己評価表

2019年度

園名 まあむベイビーズ相模大野

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>・愛情豊かな保育者との触れ合い、衛生的保衛的で安全な環境の中で、快適に生活できるようにする</p> <p>・家庭的な雰囲気の中で個々の欲求を満たし、情緒の安定を図りながら、個性を育み、信頼関係、愛着関係を築く</p> <p>・個々の発達、発育状態に応じて、離乳の完了や歩行の開始、言語発達への意欲を育む</p> <p>達成度 A 月齢に幅のあるクラスだったが、低月齢、高月齢と個々の発達に合わせた活動を意識し展開することが出来た。また少人数のクラスになったので、一人ひとり密に関わり、より家庭的な保育を行うことが出来た。</p> <p>・新しい環境に慣れ、生活や遊びに興味を持ち、基本的な生活習慣の基礎を身につける</p> <p>・探求活動を通して、聞く、見る、触れるなどの様々な経験をする中で、人や環境への興味関心を高める</p> <p>・感じた事や体験など保育者に伝えようとしていたり、安心できる保育者や友だちとの生活の中で言葉を獲得していく</p> <p>・生活や遊びの経験を通じて、イメージや表現など豊かな感性を育む</p> <p>達成度 B 園の生活に慣れ、基本的な生活習慣の基礎を作れるよう一人一人に寄り添い保育を心がけた。友達や保育者との関わりを大切に、楽しく生活する中で社会性を育めるよう配慮した。</p> <p>・保育者や友達と安心できる環境の中で、情緒の安定を図る</p> <p>・身の回りのことに興味を持ち、自分でしようとする意欲を高め、基本的な生活習慣を身につける</p> <p>・全身を使った遊びを通して、運動機能を高める</p> <p>・経験を通して語彙を増やす</p> <p>達成度 A 自分で出来るところ、やろうとする気持ちを大切に、身支度など自分で出来た達成感を味わえるように配慮した。出来なかったことが出来るようになったことで自信を持って活動に取り組む気持ちを育むことが出来た。個々の発達、癖、性格などを考慮しながら、個々に関わり、集団として活動することにメリハリをつけたクラスになった。</p>	<p>0歳児</p> <p>*担当を分け、特定の保育者が密に関わることで児も安定し、愛着信頼関係をしっかりと築いた状態で保育を行うことが出来た。</p> <p>個別の発達状態を共有し、クラスとしてのまとまりも作ることが出来た。</p> <p>1歳児</p> <p>*在園児、新入園児が混在し、また人見知りする年齢なので、ゆったりと園生活、新しい友達に慣れるよう配慮した。担当同士で連携を取り、話し合いを重ねながら無理なく進められるように制作や活動の内容を決める事が出来た。</p> <p>2歳児</p> <p>*基本的な生活習慣の獲得を意識し、出来るところを見守り支えられるよう配慮した。施設長を含め、今年度の園児に合わせた保育を考え実行できるよう準備した。異年齢混合での生活と2歳児のみでの生活のバランスを取りながら、過ごすよう配慮することが出来た。</p> <p>総合</p> <p>*異年齢混合で過ごす時には、各年齢の担当が連携し合い、確認し合って活動することが出来ていた。各学年においてはやや閉鎖的になってしまうところもあったが、お互いに相談し合い、園児の発達を踏まえながら進める事が出来ていた。職員一人一人の経験も増え、よりクラスづくりも豊かになってきたように感じる。</p>	<p>ロビーファイブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントへの参加</li> <li>・季節イベント（こいのぼり、ハロウィン）では飾りの前で記念撮影させてもらったり、散歩などで子どもたちが大きなこいのぼりを見ることが出来た。</li> <li>・サンタクロースからのプレゼント：クリスマス会にサンタクロースとして参加してもらい、子どもたちの発表を見て頂く。またプレゼントをもらうことを体験することが出来た。</li> </ul> <p>・常に防災センターの方が気にかけてくださり、周辺の修繕や警備をしていただく</p> <p>図書館</p> <p>2歳児を中心にお話会へ参加する</p> <p>きらりとのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育園と共同イベントとしてハロウィン仮装を行う</li> </ul>

## この評価のつけ方:

各担当と施設長で話し合い、まとめる。評価に関しては施設長が判断し評価した。A出来ている Bほとんど出来ている Cやや出来ていない